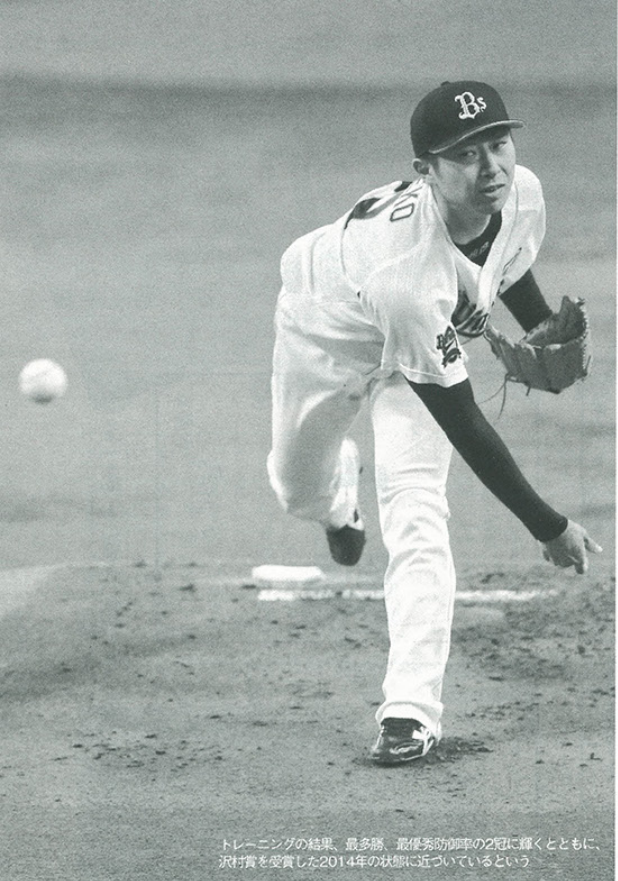
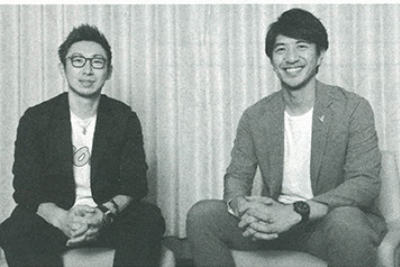


2019新天地に翔る

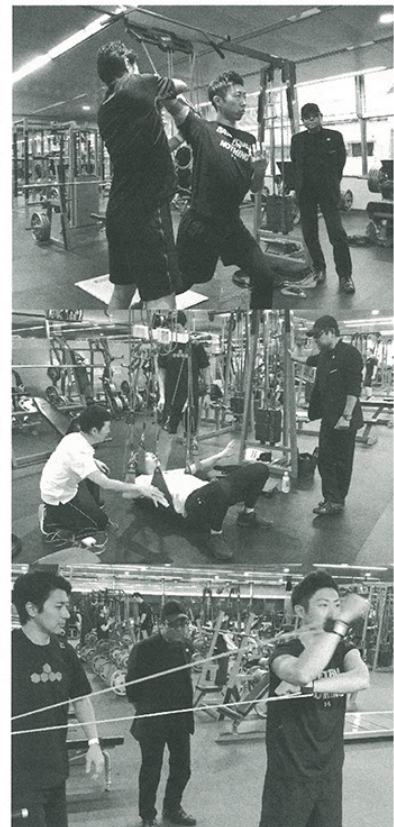


トレーニングの結果、最多勝、最優秀防御率の2冠に輝くとともに、沢村賞を受賞した2014年の状態に近づいているという



写真左/かねこ・ちひろ●1983年11月8日生まれ。新潟県出身。180cm77kg。右投左打。長野高からトヨタ自動車を経て05年自由獲得枠でオリックス入団。07年途中で先発に転向すると08年から先発ローテ入り。10年には17勝(8敗)で最多勝を獲得。11年、12年と度重なる故障に悩まされるも、13年は1年間を通して先発ローテを守り抜き、最多奪三振のタイトルを手に入。翌14年には選考基準7項目をすべてクリアし、沢村賞を受賞した。18年オフに自由契約となり、日本ハムへ移籍。

写真右/たなか・だいさ●1980年4月28日生まれ。兵庫県小野市出身。市場小4年時に野球を始め、小野南中では軟式野球部に所属。小野高では2年次から四番に座り、3年夏は主将を任せられ西兵庫大会8強。慶大では4年春に3本塁打で本塁打王を獲得した。慶大卒業後、フジテレビジョンに入社し、アナウンサーとして報道・情報番組、スポーツを担当。4月1日、同社を退社し、5月からフリーに転身。モットーは「命を生きる」。



▲右肩の回復を目指し、オフ期間中はトレーニングジム「トータル・ワークアウト」を訪ね、代表取締役会長でトレーナーのケビン山崎氏の指導の下、大阪と東京で集中トレーニング合宿を敢行。肩の不安は一掃され、12月初旬に球速は130㌔(台後半)を記録した(写真提供=トータル・ワークアウト)
▼日本でのトレーニングの間にはアメリカ・シアトルのトレーニング施設「DRIVE LINE BASEBALL」へ。多くのメジャー・リーガーが通う同施設には膨大なデータがあり、「トータル・ワークアウト」でのトレーニングの効果もあって、金子式大はほぼすべての項目で「excellent」の評価。同施設にいた同業者たちを驚かせた。同施設にはケビン山崎氏(左)、田中大貴氏(右)も同行(写真提供=トータル・ワークアウト)



「持っているものをすべて伝えるつもりですが、逆に僕がファイターズの選手たちから学ぶこともたくさんあると思う」

京においても逆にあえないんじゃないかと考えて、一緒に行くことにしました。少し前にテレビで18年に引退した選手の下キユメンタリーを夫婦で見ている、あと何年現役を続けられるか分からない状態でも、子どもと別々に暮らすのは、子どもにとっても良くないのかなど。妻からの提案でもありました。1つ不安があるとしたら、いまの家の荷物がちゃんと北海道

の新居に運び切れるのかどうか……。14年間溜まりに溜まったものがある(笑)。12月の記者会見を見て、そして今話を聞いて、名前も変わりますし髪型も変わって、「金子式大という選手は新しくなりたいんだ」と僕は感じました。金子 今までの自分を捨てたいわけではないんです。だから、アップグレード。そういう気持ちはあるかもしれませんが、

名前の変更もその気持ちが込められているのですか。金子 名前が結果的にどうなった感じですが、会見でもお話ししましたが、風水の先生の提案でした。チームを変えるにしても、残るにしても、名前は変えたほうがいいよ、と。いろいろな先生の解釈はあると思うんですが、今までの名前がよくやってこれたね」と言われてしまっています(金草笑)。画数の問題だと思っていますが、その先生は僕のことを知らなくて、先人観がない中でお話をしていたのだと思います。上が偶数で下が偶数で、挟まれて八方ふさがりだと、「この名前にしたら

良くなるよ」と言われたので、迷うことなく決めました。2019年は金子式大にとって、どのような位置付けの1年ですか。金子 環境がガラッと変わって、登録名も変わり、周りからの視線というか、期待というか、「金子」となるんだろう?というのがあると思います。もちろん期待されるのはすごくうれしくて、その期待に応えたいんですが、でも自分自身がプレはダメなのかなど。いままでも積み上げてきたこともあり、周りに流されず、いかに自分をしっかり持てるか、というところかなと思っています。ただ、先発をやるにしても、中継ぎをやるにしても、チームは変わるのか、新たな金子式大を見つめられるのかな、という期待感はまだあります。それを感じたいというのと、また投げられるところを見せたいな、と思っています。

優勝させてほしい(笑) — ファイターズは非常に若いチームであり、それでも結果を残してきた強いチームです。その中で、経験も実績もあるベテラン選手として、このチームにどう関わっていきたいと思っていますか。金子 確か、投手陣では最年長になるんですけど。ちょっと、不安なところはあります(笑)。球団の方と話しをしたときには、いろいろなことを若い選手に伝えたいと言われました。もちろん聞いてくれれば答えますし、自分の持っているものを伝えるつもりではあるんですが、逆に僕がファイターズの選手たちから学ぶこともたくさんあると思うんです。正直な気持ちを言うと、若い選手たちからいろいろ吸収したい。今はその気持ちのほうがいいですね。

すべて新しいものを求めていくと — さてほしい(笑)！ — そうですね、不安なところはあります(笑)。球団の方と話しをしたときには、いろいろなことを若い選手に伝えたいと言われました。もちろん聞いてくれれば答えますし、自分の持っているものを伝えるつもりではあるんですが、逆に僕がファイターズの選手たちから学ぶこともたくさんあると思うんです。正直な気持ちを言うと、若い選手たちからいろいろ吸収したい。今はその気持ちのほうがいいですね。

いろいろな変化球を投げるところに共通点がありますし、わりと変化量の小さい変化球を自信を持って投げられるタイプかなというふうに思います。僕も力感がなく、全力で投げているように思えないと言われることがあるんですが、上沢君もそれに近いのかなと。あと僕より全然スピードもありますし、上背もあって角度もあるんですが、例えば1つの変化球をストレートに生かすこともできるし、ほかの変化球にも良い影響を与えられることを分かっているピッチャーです。

いろいろな変化球を投げるところに共通点がありますし、わりと変化量の小さい変化球を自信を持って投げられるタイプかなというふうに思います。僕も力感がなく、全力で投げているように思えないと言われることがあるんですが、上沢君もそれに近いのかなと。あと僕より全然スピードもありますし、上背もあって角度もあるんですが、例えば1つの変化球をストレートに生かすこともできるし、ほかの変化球にも良い影響を与えられることを分かっているピッチャーです。